



いしやま であら  
⑦ 石山寺  
TEL:077-537-0013

特別  
拝観 石山寺光堂の三尊特別拝観



開催期間 4月25日(土) ▶ 5月17日(日)  
公開するのは光堂御本尊の阿彌陀如来坐像(鎌倉時代)、旧多宝塔御本尊の大日如来坐像(平安時代・重文)、淀殿御寄進の如意輪観音菩薩坐像(桃山時代)の三尊です。光堂へ続く参道はあお若葉のほか、ヒラドツツジやフジなど境内を鮮やかに彩る花々も楽しめます。



いわま であら  
⑨ 岩間寺  
TEL:077-534-2412

ぼけ封じ ほうろく灸祈願会

開催期間 5月17日(日)  
ほうろく灸祈願は、陶器の皿の上に灸をのせ、頭の百会というツボを刺激することで、ぼけを封じる効果があり、僧侶らによる読経により利益を得る法要です。多くの老若男女がこの加持を受け、健康長寿を祈願します。

## おすすめ桜情報

場所	見頃	おすすめポイント
西教寺	3月下旬～4月中旬	約200本の桜が境内のあちこちで見られ、満開の桜とびわ湖と一緒に望むことができる
比叡山延暦寺	4月中旬～5月上旬	麓より開花時期が遅いので桜と新緑が同時に楽しめる
日吉大社	3月下旬～4月中旬	日吉馬場と呼ばれる県道316号ではソメイヨシノや山桜、枝垂れ桜が咲き乱れる
三井寺	3月下旬～4月中旬	桜の名所として有名。1000本を超える桜が境内で咲き乱れる。夜にはライトアップされ幽玄の世界に誘う。
石山寺	3月中旬～4月中旬	四季折々「花の寺」として親しまれる。早咲きから遅咲きまでさまざまな桜が楽しめる
琵琶湖疎水	3月中旬～4月中旬	明治時代、最高の土木技術で作られた運河。2025年に国宝及び重要文化財に指定された。両岸には約200本の桜並木があり、夜にはライトアップされる人気のスポット

びわ湖大津ツアーズ  
「びわ湖の桜とあお若葉」を楽しむツアーや大津の魅力を体感するツアーはこちら▶

特別企画展 春季 石山寺と紫式部展

開催期間 3月18日(水) ▶ 6月30日(火)

紫式部が参籠して源氏物語を起草したことに因み、石山寺には数多くの美術品が保存されています。春季展示ではさまざまな「祈り」をテーマに、巡礼や祈祷、御守やおまじないなどに関する経典や聖教、資料を展示する予定です。

特別企画展 石山寺本堂内陣特別拝観(上期)

開催期間 1月17日(土) ▶ 5月17日(日)

「祈り、馬に乗る」と題し、本年の干支「午(うま)」にちなみ、馬にかかわる宝物をご紹介します。

あお若葉の記念御朱印

開催期間 4月25日(土) ▶ 5月17日(日)

「多宝塔」の文字に国宝多宝塔の御本尊である金剛界大日如来の御朱印にあお若葉に印を授与。

戦国武将ゆかりのスポット

石山寺 豊臣秀吉(側室淀殿)  
天正元年(1573)石山寺が足利義昭の陣地となり、織田信長が攻め入って焼失や破損した堂宇(石山寺東大門など)を淀殿が慶長7年(1602)に修理再建しました。そして光堂にある本堂の旧御前立尊の如意輪観世音菩薩も淀殿の寄進と伝わります。

緒伽藍(東大門、本堂(外陣)・相の間、三十八所権現社、蓮如堂、経蔵)  
淀殿寄進の如意輪観世音菩薩 あお若葉の競演の期間のみ

青鬼まつり 開催期間 5月17日(日) お祭り

石山祭り 開催期間 5月5日(火) 祝



たちき かのん  
⑩ 立木観音  
TEL:077-537-0008

花まつり(灌仏会)

開催期間 3月20日(金)祝 ▶ 4月8日(水)  
瀬田川にある鹿跳溪谷のほとり約八百段の石段を登った先にある立木観音。厄除けの観音様として広く親しまれています。4月8日は仏教をお開きになられたお釈迦様の誕生日。立木観音では春分の日からお子さまの成長と健康を願う御祈願がされます。

湖信会十社寺  
ご朱印めぐり

オリジナル御朱印用紙(無料)を入手して湖信会十社寺を巡ろう。

満願された(十社寺すべての御朱印をいただいた)方には満願の証をお送りします。

開催期間 6月1日(月)～

配布場所 湖信会十社寺 浮御堂・西教寺・比叡山延暦寺・日吉大社・近江神宮・三井寺・建部大社・石山寺・岩間寺・立木観音

配布枚数 各社寺 20枚程度 | 十社寺合計 200枚

ご注意ください

- 御朱印用紙は無料ですが、各社寺でのご朱印は有料です。御朱印用紙のみの配布はいたしません。
- 各社寺でのご朱印用紙の配布は先着順です。ご訪問時にすでに配布を終了していることがあります。
- 法要などで朱印がいただけないことがあります。あらかじめ各社寺にご確認の上、おかけください。

湖都大津湖信会十社寺

あお若葉とびわ湖の桜

2026  
Cherry Blossoms and Green Maple leaves at Historic temples and Shrines in Otsu city

特別拝観・特別企画展  
お祭り・行事  
戦国武将ゆかりのスポット

主催/公益社団法人びわ湖大津観光協会

大津市MAP

# びわ湖の桜とあお若葉

桜の季節から新緑が美しい季節まで、大津市内の湖信会十社寺では期間限定の特別公開や記念御朱印の授与、春のお祭りなどこの時期ならではの楽しみがいっぱいです。そして今年の大河ドラマで描かれるのは「戦国時代」。大津には戦国武将ゆかりのスポットも多数あります。自然と歴史豊かなびわ湖大津へ、さあでかけましょう。



**3 比叡山延暦寺**  
TEL:077-578-0001

**特別拝観** **にない堂特別坐禅体験**



**開催期間** 4月29日(水祝) ▶ 5月6日(水 振休)

現在も僧侶の修行道場として使用されている通常非公開のにない堂(重要文化財)が、特別公開されます。坐禅体験をお申しいただいた方には、併せて堂内の特別拝観もしていただけます。

**特別企画展** **春季企画展**  
「比叡物語-名宝で語る信仰と歴史-」

**開催期間** 4月18日(土) ▶ 6月15日(日) (5月22日(金) 休館)

国宝殿は、比叡山や関連寺院等に伝来した宝物を保存・展示する施設として、平成4年に開館。この度の企画展は、そうした国宝殿の館蔵品の中から選りすぐった名宝を通じ、延暦寺1,200年の歴史を垣間見ようとするものです。



**6 三井寺**  
TEL:077-522-2238

**特別企画展** **「豊臣兄弟!とその時代」**

**開催期間** 2月1日(日) ▶ 12月20日(日)

大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)の放送に合わせて豊臣秀吉公、北政所様をはじめとする「豊臣兄弟!」時代の三井寺にゆかりの人々を取り上げます。

(東京大学史料編纂所蔵)

**その他行事** **比叡山摩訶不思議伝説ウォーク × 戦国絵巻2026**

**開催期間** 3月20日(金祝) ▶ 12月6日(日)

僧侶の口伝により伝わった、比叡山と山麓に残る摩訶不思議な伝説・逸話をモチーフにした「比叡山摩訶不思議伝説ウォーク」シリーズ、今年は大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)の放送に合わせ、戦国絵巻コラボバージョンのスタンプラリーを開催します。

**その他行事** **令和8年比叡の大護摩**  
～祈りの炎が未来を照らす～



**開催期間** 5月23日(土) ▶ 5月24日(日)

比叡の大護摩とは、延暦寺でも最大規模の大護摩供法要です。比叡山 西塔・峰道広場の伝教大師尊像前にて、千日回峰行大行満大阿闍梨を大導師に仰ぎ、世界平和・人類共生と皆様の心願成就をお祈りします。

**特別拝観** **「豊臣兄弟!とその時代」**  
**金堂内陣特別拝観**



**開催期間** 4月25日(土) ▶ 5月17日(日)

豊臣兄弟が活躍した室町時代から江戸時代初期の非公開仏像(初公開含む)を国宝金堂内陣において特別公開します。

**あお若葉の記念御朱印**

**開催期間** 4月25日(土) ▶ 5月17日(日)

唐院釈迦三尊とあお若葉の印を授与。

**にない堂 特別御朱印**

**開催期間** 4月25日(土) ▶ 5月6日(水 振休)

弁慶ゆかりのお堂「にない堂」の特別御朱印です。阿弥陀如来を本尊とする常行堂と、普賢菩薩を本尊とする法華堂のそれぞれの御朱印をつなげるとにない堂が現れます。予定枚数が無くなり次第終了となります。

**戦国武将ゆかりのスポット**

**鎮魂塚** 織田信長  
東塔地域国宝殿前に、焼き討ちに関係する人々を慰霊した「元亀兵乱殉職者鎮魂塚」が建立されており、毎年焼き討ちがあった9月12日に法要が執り行われ、伝教大師の「怨親平等」の精神にもとづき、敵味方関係なく慰霊しています。

**釈迦堂** 豊臣秀吉  
織田信長の焼き討ち後、秀吉の命によって、三井寺の金堂を移築したものが、現在の釈迦堂。西塔の本堂であり、延暦寺諸堂の中では、一番古い建造物。

**大黒堂** 豊臣秀吉  
大黒堂では三面出世大黒天を祀っています。秀吉がこの大黒天を篤く信仰し、その後、天下人となったため、「出世」という言葉は、そこから呼ばれるようになりました。

**横川中堂** 豊臣秀吉(側室淀殿)  
横川地域の本堂。焼き討ち後、淀君の寄進によって再建されました。昭和初期に焼失し、現在の建物は、淀君再建の建物を模して建てられました。

**さくらフェスタ** **お祭り**

**開催期間** 4月29日(水祝) ▶ 5月6日(水 振休)



**その他行事** **三井寺春のライトアップ2026**

**開催期間** 3月25日(水) ▶ 4月12日(日)

万葉の時代から桜の名所として親しまれてきた三井寺。境内に咲き乱れる千本を超えるソメイヨシノや山桜、しだれ桜が鮮やかにライトアップされ、ことに参道沿いの桜並木は圧巻。幻想的な夜桜の世界が広がります。

**戦国武将ゆかりのスポット**

**金堂** 豊臣秀吉(正室北政所)  
秀吉の正室北政所の寄進により現在の金堂が再建されました。桃山時代を代表する名建築として知られています。

**仁王門・三重塔** 徳川家康  
もとは豊臣秀吉が伏見城に移築してきたものを徳川家康が秀吉没後三井寺に寄進しました。

**千団子祭り** **お祭り**

**開催期間** 5月16日(土) ▶ 5月17日(日)



**1 浮御堂**  
TEL:077-572-0455

**あお若葉の記念御朱印**

**開催期間** 4月18日(土) ▶ 5月17日(日)

近江八景で知られる浮御堂。湖上安全と衆生済度を祈願して建立したといわれています。



**2 西教寺**  
TEL:077-578-0013

**特別企画展** **明智光秀 肖像画(本徳寺所蔵) 特別公開**

**開催期間** 4月25日(土) ▶ 5月10日(日)

戦国武将・明智光秀の唯一現存する肖像画を客殿にて特別公開。肖像画は、岸和田・本徳寺を開基した僧侶、南国梵珪が描かせたと伝えられます。南国梵珪は光秀の長男との説もある人物。誰しも一度は目にしてる肖像画をぜひご覧ください。

**かざぐるま 特別御朱印**

**開催期間** 3月20日(金祝) ▶ 6月7日(日)

サクラと青もみじとかざぐるま 参道通り抜け開催期間に授与させていただきます。



**5 近江神宮**  
TEL:077-522-3725

**近江神宮流鏝馬(武田流鏝倉演)** **お祭り**

**開催期間** 6月7日(日)

青葉の美しい6月の第1日曜日に「時の記念日」の奉祝行事の皮切りとして開催されています。出陣の太鼓を合図に鏝矢奉獻の儀、天長地久の式、式的、競射、凱陣の式が催されます。

**漏刻祭** **開催期間** 6月10日(水)

天智天皇は西暦671年に近江大津京に漏刻(水時計)を創設、この日を記念して天智天皇に祈りを捧げ、社会と文化の発展、産業繁栄、家内安全を祈願します。



**4 日吉大社**  
TEL:077-578-0009

**山王礼拝講** **開催期間** 5月26日(火)

神前にて延暦寺の僧侶が法要を行う全国でも大変めずらしい神事です。

**特別拝観** **重要文化財神輿七基特別拝観**



**開催期間** 4月29日(水祝) ▶ 5月6日(水 振休)

日吉大社には400年前に作られた重文神輿があり、延暦10年に桓武天皇が2基の神輿を寄進して以来、1200年の歴史を有しています。今回は重文神輿7基を収蔵している収蔵庫を特別公開します。

**戦国武将ゆかりのスポット**  
**日吉三橋(走井橋)** 豊臣秀吉が木の橋を送ったと伝えられていますが、現在は石の橋にかけかわっています。大宮橋、二宮橋と合わせて日吉三橋と呼ばれています。

**特別拝観** **特別初公開 勢至菩薩**

**開催期間** 3月20日(金祝) ▶ 6月7日(日)

千年の守り本尊は勢至菩薩です。本像は本堂内陣裏堂に安置されており、今まで寺の関係者以外公開されたことのない仏さまです。一般に公開するのは初めてとなります。



**特別拝観** **伏見城遺構 客殿(桃山御殿) 内部特別公開**

**開催期間** 4月25日(土) ▶ 5月10日(日)

西教寺客殿は通称桃山御殿といわれ、豊臣秀吉の居城だった伏見城の遺構と伝わっています。大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)の放送に合わせて内部を特別公開します。また、客殿内部はNetflixで話題の「イクサガミ」のロケでも使用されました。

**その他行事** **サクラと青もみじとかざぐるま 参道通り抜け**



**開催期間** 3月20日(金祝) ▶ 6月7日(日)

未来を担う子どもたちの健やかな成長を願って境内に「かざぐるま」を2,000個設置いたします。また、3月下旬から4月上旬は桜の参道、5月下旬から青もみじの参道とあわせて楽しみながら参拝いただけます。

**戦国武将ゆかりのスポット**

**菩提寺** 明智光秀  
明智光秀公の菩提寺であり、光秀とその一族、正室照子の墓所があります。また、ゆかりの品々が現在も残されており、明智光秀資料室もあります。

**伏見城遺構 客殿** 豊臣秀吉(桃山御殿)  
客殿は通称桃山御殿といわれ、豊臣秀吉の居城だった伏見城の遺構と伝わっています。



**8 建部大社**  
TEL:077-545-0038

**例祭(春祭り) 神輿渡御** **お祭り**

**開催期間** 4月19日(日)

例祭後の日曜日に行われます。神社の神輿に祭神を迎えて氏子地域などを巡行し、神霊を慰め悪厄退散を願う祭事です。